

「学研メディカルサポート便に 当院の取り組みが掲載されました」

令和7年6月

メディカルサポート便り

第155号

2025年5月1日発行

一人ひとりのレベルに合わせた学習でステップアップ！

三重県いなべ市にある三重北医療センターいなべ総合病院で看護部長を務める小林美和さんに、ラダーを活用した計画的・段階的学習の支援についてご寄稿いただきました。

当院の紹介

当院は、三重県と岐阜県の県境にあるいなべ市にあります。災害拠点病院・がん診療連携推進病院・臨床研修指定病院であり、病床数220床を有します。いなべ市唯一の総合病院として、高度医療の提供をはじめ地域の医療・保健・福祉機関とも連携し、地域に根差した病院をめざしています。

看護部の教育は、「病院の理念」と「看護部の理念」のもと、信頼される質の高い看護を提供できる看護職を育成することを目指し、教育環境づくりにも努めています。教育体制は、生涯学習支援を意識したクリニカルラダー・マネジメントラダーを基盤とし、主体的にまなびを進め、計画的・段階的なステップアップをめざします。

e-ラーニング導入の経緯と活用状況

看護職において、新しい知識や技術等タイムリーに習得していく必要があります。しかし時代背景に応じた看護師の役割拡大や働き方改革、スタッフ不足等に研修の時間を十分に確保できない現状がありました。そこで効率的な研修と、個々のスキルレベルに応じた学習効果を高める目的で、2024年度より「学研ナーシングサポート」を導入しました。

活用方法については、学研の担当者からこれまでの具体的な活用方法やアドバイスを受け、教育企画委員会や教育担当者委員会で検討してまいりました。新人看護職員



▲教育企画委員会の皆さん
前列中央が小林美和看護部長

の技術研修では、事前学習に「ビジュアルナーシングメソッド」を活用し、指導の標準化や実践の効果につなげました。2025年度からは、e-ラーニング研修の年間計画を実施し、段階的に必要な学習ができるよう進めていきたいと考えています。

クリニカルラダーでは、ラダーレベル別研修で事前学習や集合研修にて活用し、視聴した内容の意見交換を行い、実践に活かすよう支援をしました。そして学研ナーシングサポートシラバスを利用し、レベルに沿ったe-ラーニング研修の一覧表を作成、レベル別の必須研修として活用しています。レベル別に効率よく、段階的な成長につなげていきたいと考えています。

また、「ビジュアルナーシングメソッド」は、エビデンスに基づいた最新の看護手順書が掲載されています。手順書は簡単に編集も行えるため、既存の手順書と照らし合わせ、手順の改訂を行いました。今後は、看護手順書の改訂内容を周知する取り組みを行い、看護技術が自己流にならないよう、安心・安全な看護技術の提供に努めてまいります。



▲教育担当者委員会の皆さん



▲e-ラーニングを活用した研修風景



▲e-ラーニングを活用した配布資料

今後の課題

2024年度から導入したe-ラーニングの活用は、まだまだ受動的であり、e-ラーニングを能動的に活用できるようにするための仕組みづくりが必要であると考えます。また学研ナーシングサポートは、看護職だけでなく多職種が学べるコンテンツも多くあり、施設オリジナルコースの作成ができます。院内全体での研修の効率化や充実を図るために、全職員へのID・パスワード付与の検討をしていきたいと考えています。



三重県厚生農業協同組合連合会

三重北医療センター いなべ総合病院

〒511-0428 三重県いなべ市北勢町下喜771
電話：0594-72-2000 FAX：0594-72-4051

病床数：220床（急性期一般病床）

診療科：内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、小児科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、肛門外科、リハビリテーション科、脳神経内科

看護職員数：221名（2025年3月現在）

看護部理念：生命の尊厳と権利を尊重し、信頼される質の高い看護を行います

導入コース：基本パッケージ（一般）+オプション（ビジュアルナーシングメソッド）